

## 令和2年度第9回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和3年1月19日(火) 10時30分～11時54分
場所	Web会議
出席者	学長、渡理事、山下理事、寺本理事、岩本副学長・全学教育機構長、山崎副学長・事務局長、佐々木監事、板橋教育学部長、吉住芸術地域デザイン学部長、樫澤経済学部長、末岡医学部長、豊田理工学部長、小林農学部長、山下附属病院長、大島附属図書館長、高椋総合分析実験センター長
欠席者	なし
陪席者	鯉川学長補佐、倉岡学長補佐、小野学長補佐、早瀬学長補佐、後藤学長補佐、三島学長補佐、石松学長補佐、只木学長補佐、上田学長補佐、田中学長補佐、西郡学長補佐、吉永学長補佐、伊藤地域学歴史文化研究センター長、池上海洋エネルギー研究センター長、郭シンクロトン光応用研究センター長、矢田肥前セラミック研究センター長

- 学長より、令和2年度第8回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。
- 議事に先立ち、1月1日付で就任された学長補佐の紹介があった。

### 【 報告・連絡事項 】

#### (1) 第3期教育研究評価に係るヒアリングの内容等について

只木評価室長より、昨年6月末に、第3期中期目標期間（4年目終了時）の評価に係る報告書のうち、教育研究評価に係る実績報告書を提出したことに対し、ヒアリングが行われる旨、ヒアリングの日程及び参加者等について説明があり、また、達成状況報告書に対して確認事項が届いているため、ヒアリング出席予定者は、本資料に一度目を通しておいていただきたい旨の発言があった。

#### (2) 第4期中期目標期間における国立大学法人の中期目標・中期計画の策定に向けて

学長より、中期目標・中期計画の策定にあたり、従前、文部科学省より示されている国立大学法人の組織及び業務全般の見直しに関する視点に沿って、本学の中期目標・中期計画を策定していたが、第4期に関しては、文部科学省より、第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱（仮称）が示され、本大綱の内容も踏まえ、第4期中期目標・中期計画を策定する旨、また、国立大学法人の第4期中期目標・中期計画の項目等について（案）が示されており、各学部長、学長補佐においては、これらの資料より、どのようなことが求められているのかを確認

いただき、また、関連する先生方と相談をしながら進めていきたい旨、説明があった。

(3) 令和3年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

財務課長より、昨年12月に令和3年度政府予算案が閣議決定されたことを受け、文部科学省から各国立大学法人へ、その概要について通知があった旨、令和3年度国立大学関係予算（案）の概要について、説明があった。

次いで、環境施設部長より、令和2年度の補正事業及び令和3年度の施設整備費の予算が内示された旨、令和3年度施設整備費要求事項について説明があった。

(4) 令和3（2021）年度科学研究費助成事業の申請状況について

寺本理事より、科学研究費助成事業の部局別種目別新規申請件数一覧について説明があり、申請者率が100%を達成している部局もある一方、中期目標・中期計画において設定している目標値の90%に達していない部局もある旨、また、この中からいかに多くの事業が採択されるかが重要であり、それらを見据えて、各学部の査読システムを2月から少しずつ始動させたい旨、報告があった。

学長より、申請状況が芳しくない部局においては、更なる取り組みをお願いしたい旨の発言があった。

(5) 正しいドメイン名の使用について

只木総合情報基盤センター副センター長より、ドメイン名の重要性及びプロジェクトやイベントで一時ドメイン名を使用する場合の危険性について説明があり、特に、一度取得したドメイン名について、登録料を支払わず手放した場合、一定期間後に中古ドメインとして、誰もが登録することが可能となることから、不適切な内容を含むサイトで使用されてしまうケースが起きている旨、そういったトラブルに巻き込まれないために、新規にWebサイトを立ち上げたい際には、一度、総合情報基盤センターあるいは、情報管理課へ相談してほしい旨の発言があった。

板橋教育学部長より、現状は、Webサイトを構築した後に別のドメイン名を取得し、表面上は大学のドメイン名でそれらが表示できるという形になっているが、この仕組みは複雑で、一部の方しか理解できていない状況であることから、大学のサーバーに直接、Webサイトのファイル等をアップロードできる仕組みを整えることができないかという意見があった。

## 【 各学部等からの報告・連絡事項 】

### (1) 活動現況等について月例報告

西郡 I R 室長から、月例データの分析に基づく気づき事項について、就職内定率が前年度と比較して減少傾向にある旨、キャンパスソーシャルワーカーの相談件数が、前年度同時期と比較して増加しており、どのようなケースで相談件数が増加しているのか詳細な分析が必要である旨、説明があり、山下理事より、学生へのアウトリーチの内訳について、補足説明があった。

次いで、各部局長から、前回の気づき事項への対応を含む月例報告があった。

### (2) その他

特になし

## 【 その他 】

報告事項

以 上